

広島市植物公園

見どころ案内

ロックガーデン

オトメギボウシ(ユリ科)は、ギボウシの仲間で一番小さいと言われています。朝鮮半島原産です。

トリアシショウマ(ユキノシタ科)は、長い花茎の先に、白い小さな花が房を作って咲いています。

春の芽出しの時の形が鳥の足に似ているので名がつけました。

カライトソウ(バラ科)は、赤紫の猫のしっぽのような花をつけます。花びらはなく、糸状のものはおしべです。

サボテン温室

プルメリアと

アデニウム(砂漠のバラ)

が咲いています。どちらもキョウチクトウ科です。奇想天外に花がつけました!!

サボテン展 展示温室にて
6/22(土)~7/4(木)

ナツツバキ (ツバキ科)

別名シャラノキ。白い清楚な花です。つぼみがかわいい!!

ガクアジサイとアジサイの仲間展
6/30(日)まで屋外展示場にて

クマノミズキ (ミズキ科)

白い花が咲きました。9月頃、実が熟すと花茎が赤くなって珊瑚の枝のように見えます。

ハンゲショウ (ドクダミ科)

夏至から 11 日目を半夏生と言います。その頃に花が咲き、葉が白くなります。

山あじさいの里

ヤマアジサイ(ユキノシタ科)は、日本の山に自生する小型のアジサイです。花が咲き終わると装飾花を裏返して、ごちそうさまと盃を伏せているように見えます。

赤いふちどりのある清澄サワアジサイは、園芸品種ラブユークシスの母種です。

ガクアジサイ (ユキノシタ科)

房総半島から四国までの太平洋岸に分布する装飾花が額縁状になったアジサイです。全部の花が装飾花のものが単にアジサイと呼ばれています。

アナベル (ユキノシタ科)

アメリカ原産のアジサイ、アルボレスケンスの園芸品種。花の房が

森のレストラン 大きいのが特徴です。
休憩展望塔

ヒマラヤヤマボウシ (ミズキ科)

中国からヒマラヤに分布する珍しい黄花のヤマボウシです。けもの道のような小道を入った所から見る事ができます。2本に花がついていて今年数は多いようです。

アメリカトチノキ (トチノキ科)

和名はなく、アメリカ原産なのでガイドの間でこう呼んでいます。ツバキ園の斜面に数本ある低木です。

ネムノキ (マメ科)

咲き始めです。今年は低い枝にも花が見られます。写真を撮るチャンス!!

アメリカノウゼンカズラ (ノウゼンカズラ科)

北アメリカ原産のノウゼンカズラです。おなじみの中国原産に比べて花が小さく色が濃いのが特徴です。

